

平成22年度「みんなの審査会(新さかい)」対象事業の市の方向性
(平成23年2月時点)

事業番号	②-2	事業名	芸術文化振興事業			
所管	市長公室		文化	部	文化	課
1. みんなの審査会でいただいた主な意見等						
<p>(検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「都市魅力の向上」といった観点から考えると、この補助金事業だけでは効果は限られていると思う。アマチュアの団体も含めて、市民が音楽に親しみ、すそ野が広がるような取組みを同時に行うことによって、まち全体に活気が生まれるような支援のあり方を考えてほしい。 ・本当にオーケストラやオペラを育てようというのなら、他市と比べてこの補助額は少ない。しかし行政の丸抱えも不可能。公演回数の増加による来場者増など、堺市全体の盛り上がり活性化につながる。 ・両団体とも、一般社団法人、一般財団法人ということであれば、ホームページで財務状況を公開するなど、透明性を高め、市民の参加を促すような努力を求めたい。 ・成果指標の設定の困難さは理解できるが、量より質を求める事業なので、来場者に意見を聞くなど、丁寧にモニタリングし、情報を集めておくことが望まれる。 <p>(市民審査員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演回数の増加・拡充を図るとともに、市民へのPRが必要と考える。 ・現存の2団体のみならず、小さなグループ(もしくは個人)にも輪を広げるべき。 ・他の堺の芸術家の方たちのPRもしてはどうか。 ・文化のすそ野を広げるといふ考えなら、学校の文化行事の1つとして組み入れてはどうか。 ・堺市との関係はどうしていくのかを明確にし、プランを作る。 ・堺をPRするためにも、市外を含めPRを拡充することは良いと思う。 						
評価結果	①市で実施 (現行どおり)	②市で実施 (強化・拡充)	③市で実施 (要改善)	④実施主体の 見直し	⑤事業は不要 (廃止)	
市民審査員	2人	4人	6人	4人	2人	
検討委員(参考)	1人	1人	3人	0人	0人	
2. 市の方向性	改善(平成23年度中に見直しの検討を行い、平成24年度以降に見直しを実施)					
3. 1の意見等を踏まえた市としての取組方針、見直し内容						
<p>当事業については、継続して実施すると同時に、市民・民間・行政の三者が一体となった支援の実現のため、さらなる民間協賛等の獲得に向けた仕組みづくりや情報発信の強化方策を検討する。</p> <p>なお、大阪交響楽団に対しては、同団体と連携し、オーケストラの演奏を聴く機会の拡大に取り組むことで団体の知名度向上やクラシック音楽の裾野を広げる取組を行っていくと同時に、現行の補助制度については、その見直しを行う。</p> <p>また、堺シティオペラに関しては、定期公演に対する補助金交付について継続するとともに、上記の方向性に基づく事業展開に取り組む。</p>						
4. 平成23年度予算への反映状況						
	平成22年度当初予算	平成23年度査定額	増減額			
事業費	12,000千円	12,000千円	0千円			
5. 今後の取組予定						
平成22年度下半期	堺シティオペラ、大阪交響楽団が行う公演について、補助金を交付する。					
平成23年度	堺シティオペラ、大阪交響楽団が行う公演について、引き続き補助金を交付する。また、市民がクラシック音楽を身近に感じることを目的として、市と大阪交響楽団との共催方式により、街の中でのアンサンブルコンサートなどを行う。					
平成24年度以降	大阪交響楽団については、市との共催事業(街の中でのアンサンブルコンサート等)の拡充を図る一方、補助制度の見直しを行う。堺シティオペラについては、定期公演に対する補助を継続するとともに、民間協賛等の獲得やPR事業の強化を図る。					